平成２８年度

事 業 報 告 書

公益財団法人 防府市文化振興財団

平成２８年度　公益財団法人防府市文化振興財団事業報告書

Ⅰ　事業総括

防府市文化振興財団は、真に豊かさの実感できる地域社会の形成と進展に寄与することを目的として、「豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり」を推進する防府市における文化活動の一層の活性化を図り、市民のニーズに応える多様な事業を展開しています。

平成２８年度は、新たな指定管理５年間の最初の年度に当たり、防府市公会堂、防府市地域交流センター、防府市青少年科学館、防府市視聴覚ライブラリーの４施設に防府市立防府図書館が加わり、従来の４施設についてはこれまでの実績を検証し、図書館についてはより一層の市民サービスの向上をめざし、安心安全を基本に、より利用しやすい施設運営に努めるとともに、それぞれの施設を拠点とした魅力あふれる多彩な事業を企画運営することにより、多くの来場者をお迎えし、防府市の文化振興を図りました。

Ⅱ　事業概要

公益財団法人として定款の目的にかなった事業を展開するとともに、「防府まちづくりプラン２０２０」に沿った文化・芸術活動の推進、並びに図書館運営事業による生涯学習を推進するため、所管する５施設のあり方を検討し、それぞれの特徴を活かしながら連携して適正な管理運営に取り組みました。

また、収益事業についても、公益目的事業の一層の充実を図るための財源確保や、利用者のサービス向上につながるよう、収入の確保に努めました。

１　文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

（１）鑑賞事業（資料１頁～４頁参照）

①　音楽鑑賞事業

本年度は、自主事業１１事業１１公演、受託事業４事業１５公演、合計１５事業２６公演のクラシックからポップス、伝統芸能、それ以外のジャンルと多岐にわたる事業を展開し、合計で約２万人の方にご参加いただきました。

ア　自主事業

斉藤和義、ＤＲＵＭ　ＴＡＯ、小林愛実、辻井伸行 with ヨーロッパ室内管弦楽団、ブリヂストン吹奏楽団久留米などのコンサートを開催しました。音楽以外のジャンルでは、堀江貴文講演会なども開催しました。

また、今年で４回目となる全国大会出場記念コンサートを市と共催で開催し、全国大会に出場した小学校と中学校の吹奏楽４団体がその腕前を市民に披露しました。

イ　受託事業

モンゴル国立馬頭琴交響楽団を迎え、なかなか聞くことのできない馬頭琴やホーミー（口琴）、馬頭琴オーケストラの演奏を楽しんでいただいきました。馬頭琴オーケストラと中関小学校、華陽中学校との合同演奏もあり、会場は、華やかな音色に包まれました。

また生演奏による人形ミュージカル「ニッセイ名作シリーズ２０１６ミュージカル人形劇『ぼくは王様さま★めいたんてい』」は、防府市内の全小学校１年生を招待しました。「竹澤恭子・宮田大・田村響トリオコンサート」もクラッシクファンに大きな反響を得ました。

ウ　防府音楽祭（受託事業）

第１６回目を迎えた防府音楽祭は、街の活性化を図るとともに、クラシック音楽をより多くの市民に親しんでもらえるよう１月６日（金）から９日（月・祝）までの４日間開催しました。

初日の「街角コンサート」では、うめてらす、天神ピア、防府市議会棟議場など市内の公共・商業施設合計９か所での出張コンサートを行い、各会場多くのお客様にご来場いただきました。中でも防府カトリック教会で演奏された、教会のオルガンとオーボエとのアンサンブルの音色には、多くの来場者から感嘆の声があがりました。

２日目にアスピラート市民スペースで開催した「プロムナードコンサート」では、ピアノトリオやオーボエソロなどによる芸術性の高い作品の演奏が行われ、入場無料の街角コンサート、プロムナードコンサートを合わせて１，２００人の幅広い年代の市民の皆様に気軽にクラシックの生演奏を楽しんでいただきました。

また、小学校から高等学校までの８５人の児童・生徒から社会人までが集った「管打楽器公開クリニック」では、９種類の楽器のクリニックを行い、講師からは基礎と共に楽器に対する姿勢などについても指導を受けました。

３日目の「わくわく夢の響演コンサート」では、パイプオルガンとポジティフオルガンの２つのオルガンの魅力を味わっていただいたり、合唱組曲「スターウォーズ」で、ダイナミックな演奏とソプラノ、こども合唱の共演を楽しんでいただいたりしました。

最終日の「ファイナルコンサート」では、美しいメサイアの音楽の合唱とソリストたちの歌声が観客を魅了しました。交響曲では、会場いっぱいに響き渡る音の迫力で観客を圧倒し、ドラゴンクエストⅢより「そして伝説へ」では、作曲家

のすぎやまこういち氏が指揮をするというサプライズもあり、今年の防府音楽祭も大いに盛り上がりました。

市民参加型として定着している防府音楽祭は、（独）日本芸術文化振興会からの高い評価を受け、引き続き今回も助成を頂いております。

② 美術鑑賞事業

企画展５回と、美術鑑賞バス２回を開催しました。

「中井精也１日１鉄！写真展」では、現在、日本で最も人気のある鉄道写真家・中井精也氏の、鉄道に関わる空気感そのものを切り取ったような作品を紹介しました。これまでにブログで公開してきた４千余点の中から、厳選した約１３０点を展示し、鉄道に詳しくない人でも楽しめるやさしい鉄道写真展となりました。

また、防府市制施行８０周年を記念して、古くから交通の要所として栄えた防府市の歴史の中でも「防石鉄道」を中心とした防府市の生活風景写真のパネル展示も同時に行い、市民の皆様から反響がありました。

夏休みには、全世界で２００万人を動員した「チームラボアイランドー学ぶ！未来の遊園地ー」を招致し、代表的な６作品を展示しました。来場者は４万４千人を超え、当財団設立以来最高を記録しました。

ｙａｂ山口朝日放送との共同企画展「ふるさとの匠たち　第９回腕前探訪」は、地元の職人の技を紹介するイベントとして定着しています。新たな取り組みとして、この企画展限定の作品や商品を開発するなどして、４日間で約６千７百人の来場者で賑わいました。

「アスピラートでクリスマス！２０１６」は、地元商工会議所や観光協会そして近隣の商業施設と連携して実施しています。毎年恒例のクリスマスコンサート「灯りの下でコンサート」には約３００人もの来場者がありました。また今回は、防府商工高等学校とも連携し、プロジェクションマッピングを制作・投影し好評を博しました。

チェコ文化年２０１７関連事業として開催した「ミュシャ展」では、アール・ヌーヴォーの寵児ミュシャを代表する作品「ジスモンダ」、「黄道十二宮」から、祖国のために制作したチェコ時代の作品にいたるまで、初公開を含むドイツのＯＧＡＴＡコレクションを中心に４８７作品を展示しました。２７日間の会期中の来場者は延べ６，８７９人となりました。

その他、毎年恒例の美術鑑賞バスは、７月６日（水）に大原美術館、１１月１６日（水）に九州国立博物館をそれぞれバス２台で訪問しました。両日とも申し込み満席となり、参加者の満足度も高い事業となっています。

（２）育成事業（資料４頁～５頁参照）

① 音楽育成事業

こども合唱教室、弦楽合奏教室、吹奏楽教室、合唱教室を継続事業として年間を通して開催し、幅広い層の市民に歌うこと、楽器を演奏することの醍醐味を堪能していただきました。また、チェンバロ講座も継続して実施しました。

② 美術育成事業

現役の小学校の図工担当教諭等が企画、指導を行う造形ワークショップ「ゆめあーとひろば」を昨年に引き続き開催しました。７講座開催し、例年同様全講座とも満員の盛況ぶりとなりました。この事業は、(独)国立青少年教育振興機構にその質の高さが認められ、その助成を受けて開催しました。

（３）普及事業（資料５頁～６頁参照）

① 音楽普及事業

防府市出身のチェリスト田中雅弘氏を毎年講師に迎えての音楽セミナー／田中雅弘の音楽旅日記は「田舎もん！３７年ぶりに再びウイーンの舞台に立つ」を、さらに、毎年色々な楽器について学ぶセミナーでは「オーボエを語る『美音の真髄に迫る！』」を開催し、好評を博しました。

（４）発表・支援事業（資料６頁参照）

① 音楽発表・支援事業

市民参加型の発表会「フェスタ・アスピラート音楽部門」は、出演者３９団体４４８人が参加し、来場者は例年同様に２，０００人を超えました。県内でも大変珍しい市民参加型イベントとして定着しています。

また、当財団の各育成教室を母体とする防府吹奏楽団、防府弦楽合奏団、防府少年少女合唱団の各定期演奏会、地元出身の作曲家大村能章を記念して開催される「能章まつり」、種田山頭火の生誕を祝い全国から愛好家が集う「山頭火生誕祭」の開催を支援しました。

② 美術発表事業

「フェスタ・アスピラート美術部門　なんでも写真コンテスト」は、「ほっこり」をテーマとして開催しました。市民から１２４点もの作品の応募があり、全作品をアスピラート市民スペースに展示するとともに、来場者による投票と写真家、協賛者による審査を行い、アスピラート大賞など各賞を決め表彰しました。

（５）文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設となるよう努めるとともに、各施設の利用促進を図りました。

① 防府市公会堂

市民の福祉を増進し、生活文化の向上に資するとともに広く集会の場として使用に供するために設置された公会堂は、その目的にかなうよう管理運営に努めました。

ア　施設整備

水道局から水漏れ報告を受けてタンクのバルブ交換、及び時計塔下のコンクリートの剥離部分の修繕を行いました。

その他の施設・設備については、定期的な保守管理の結果、良好な状態を保っております。なお、軽微なものについては、非常灯のバッテリー交換を行っております。

施設全般に発生している経年劣化による不具合については、保守点検業者からの情報収集や職員の日常点検により、予防措置にも気を配り、計画的な維持管理を進めるとともに、防府市と設備更新や大規模修繕に関する情報を共有するよう心掛けています。

緊急時の対策については、マニュアルに基づいた災害時のお客様の誘導方法や、消防機器の取り扱いについて訓練を行い、危機管理対策の充実に取り組みました。

イ　利用状況（資料７頁参照）

前年度に比べ、利用率、利用人数が減少しました。減少の要因としては、２７年度あった吹奏楽コンクール及びこれに関連した事前練習などでホールや楽屋等の利用が２８年度はなかったことが挙げられます。

なお、ホール以外の施設は、音楽関係の練習やサークル活動などで利用が多少伸びており、今後も施設全体の幅広い活用につなげるよう一層努力してまいります。

本年度の利用率は３３％、利用人数は６１，８６３人でした。

② 防府市地域交流センター

誰もが利用しやすい施設作りを念頭に、以下のとおり管理運営を行いました。

ア　施設整備

本年度は、展示ホールのスポットライトが防府市においてリニューアルされました。これに伴い新たに調光機能が追加され、展示物にあわせた豊かな光の表現が可能になりました。

また、これまで以上にアスピラートを身近に感じてもらえるよう、来館記念スタンプを作製しました。スタンプは１階市民スペース入口に設置しており、来館されたお子様を中心に好評を得ています。

さらに、以前から出庫する際の見通しの悪さが問題になっていた搬入口について、新たにカーブミラーを設置しました。

クリスマスシーズンには、毎年恒例となっているイルミネーションを設置し、駅前の賑わいを演出しました。

イ　利用状況（資料８頁参照）

利用率については、前年度（７４％）を３％上回り７７％になりました。利用人数については、夏の企画展で４４，０００人もの入場者があり、前年度を２２，

４９１人上回る１２４，９１７人となりました。利用率の内訳は、音楽ホール６６％、リハーサル室７９％、展示ホール８２％、練習室８３％となっています。

また、１０月に施設の裏側を見学するバックステージツアーを開催し、４組１１名の親子にご参加いただきました。ツアーではハローウィンにちなんだファッションショーを開催し、舞台照明や音響装置の操作を体験していただきました。

今後もアスピラートのファンを少しでも増やしていけるよう、職員１人１人のサービスレベルの向上に努めてまいります。

２　科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

第３期指定管理期間の初年度となった平成２８年度は、「サイエンスを、やさしく、ふかく、たのしく」をモットーに、ともに学び、考える機会を創出し、楽しむことのできる施設運営に取り組みました。

科学館での体験をきっかけに、科学の楽しさや奥深さを追求できるよう多彩な事業を実施し、市民の皆様が気軽に参加できる機会を提供しました。

（１）教育普及事業（資料９頁～１１頁参照）

①　日常事業

当館は、太陽の恵みと生命を考える「自然と人間の調和」をメインテーマに、様々な体験を通して、多くの人々が科学や技術に対する興味、関心を深めながら、創造力と科学する心を養う場となるよう事業展開しています。

本年度も、太陽望遠鏡による太陽活動の観察（ガイドツアー）、たのしい工作、サイエンスショーなどを実施し、科学を楽しく学ぶ機会の提供に力を入れました。

ア　たのしい工作

土・日・祝日に、主に幼児から小学校低学年を対象にした簡単な工作教室を開催し、５，４２９人の参加がありました。「くるくるヘキサゴン」など１２種類の工作を実施し、科学的な原理、原則を学習できるよう工夫しました。

また、団体でご利用の皆様には別メニューの工作教室を実施し、２６団体、９１３人が参加されました。

イ　サイエンスショー

楽しみながら科学への興味を深めるため、土・日・祝日に１日３回サイエンスショーを実施するとともに、平日は学校団体などの要望にもお応えしました。本年度は、３２３回実施し、８，４８１人の方々にご覧いただきました。

ウ　ソラールの科学教室

防府の自然を観察、学習したり、ものづくりを通して科学の奥深さを追及したりする科学教室を実施しました。科学を掘り下げて学べる少人数の講座で、本年度は自然観察教室「サクラの観察」や電子工作教室「マイコン制御ＬＥＤキュー

ブ」など合計４２講座を開催し、９７０人の受講者がありました。

② 特別事業

子どもから大人まで幅広い人々が、わかりやすい展示方法や解説により、科学への興味・関心を高めることができる事業を展開しました。巡回展等についても当館オリジナルの展示物を製作し展示することで、よりわかりやすく、楽しめる参加型の展示となるよう工夫しました。

ア 「春休み工作教室（後半）」

春休み期間中に、年度をまたいで実施している工作教室です。「きらきらスコープ」など５日間に９種類の工作を行い、１，６２５人の来館者がありました。

イ 企画展「ラ・ビレット展」

フランスを代表する科学教育施設である国立科学産業都市「ラ・ビレット」との協力協定により「科学する心を育むこと」をテーマに、コンピュータの比較的単純な論理や原理と数学的要素との密接な関係を知り、また答えまでの過程の重要性を理解することを目的に開発された巡回展です。

また、当館で製作した数や形に関するパズルやゲーム性のある“あそび”ができる体験展示物も展示し、算数・数学の不思議さ、美しさ、深さ、面白さについて楽しみながら学べる内容にアレンジしました。会期中７，３５４人の来館者で賑わいました。

ウ 特別展「未来の科学の夢絵画展」

公益社団法人発明協会が募集する「未来の科学の夢絵画展」を、例年同様に開催し、１，１５２人の来館者がありました。

会期中、イラストレーターわたなべえつこさんによる「似顔絵教室」も実施し、大変盛り上がりました。

エ 「サイエンスアカデミー２０１６」

当館開館以来、夏休みに実施してきました「おもしろサイエンス in ソラール」を引継ぎ、平成２５年度から「サイエンスアカデミー」として１４日間実施しています。当年度も、講師に小・中学校、高等学校、大学などの先生方をはじめ、企業や博物館の皆様をお迎えし、幅広い分野の４２講座を実施しました。また、随時工作も毎日実施しました。

これらの講座は、幼児や小・中学生の科学的好奇心を刺激し、科学のおもしろさを知ってもらうことのできる内容で、企業等から協賛、協力を得て開催しております。会期中の来館者数は６，９８４人でした。

オ 防府市制施行８０周年記念企画展「鏡のラビリンス」

“鏡”をテーマとして、サイズを変えたり、凹凸にしたり、何枚も組み合わせたり、光で反射させたりなど、様々な鏡の展示物で、ミステリアスで不思議な鏡

の世界を演出しました。

会期中は長蛇の列ができるほどの盛況ぶりで、２８，１３２人の来館者があり、８月１５日に１万人達成、８月２４日に２万人達成のセレモニーを行い、記念品を贈呈しました。

カ　防府市小中学校科学作品展

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学生の夏休みの自由研究・工作から、校内選考で選ばれた優秀作品を毎年展示しています。本年度は、小学校の部３２０点、中学校の部１５６点の作品を展示し、会期中の来館者は１，８６５人でした。

キ　企画展「科学捜査展ｓｅａｓｏｎ２」

指紋鑑定や火災鑑定、交通事故鑑定など７種類９項目に関する体験型の展示と、タブレット端末を使い捜査の一連の流れを模擬体験できる捜査シミュレーションで、科学捜査を紹介しました。また、小さなお子様でも気軽に科学捜査を体験できるよう、クイズラリーなどの当館オリジナルの体験展示も行い、幅広い年齢層の方に楽しんでいただきました。会期中は１０，３０８人の来館者数で賑わいました

ク　「ソラールのクリスマス２０１６」

来館者が科学に触れるとともにクリスマスを楽しむ場を提供する毎年恒例の特別企画です。

本年度は、「発光ダイオードで光のオブジェを作ろう」をはじめ９種類の工作のほか、サンタとトナカイのショー(サイエンスショー)、クリスマスコンサート、発明クラブ員やサイエンスＦＵＮクラブの皆様の作品展示などを行いました。会期中は、９７４人の来館者で賑いました。

ケ　パネル展「宇宙科学ヒストリー」

日本の宇宙科学の躍進を支えてきた、技術者の情熱とひたむきな努力、今現在も続けられている宇宙へのあくなき挑戦について、宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）が企画・製作したパネルを中心として紹介しました。

また、ソーラー電力セイル「IKAROS」の帆の収納・展開方法の基となったミウラ折りの体験コーナーを設け、週末には、工作コーナーでロケットに関する工作を来館者に体験していただきました。会期中は、３，５９８人の来館者があり、宇宙好きな少年たちや大人の方々に好評でした。

コ　「春休み工作教室（前半)」

春休み期間中に、年度をまたいで実施している工作教室です。「おもしろいめがねを作ろう」など４日間に６種類の工作を行い、１，０６３人の来館者がありました。

（２）情報収集保管事業（資料１１頁参照）

当館の太陽望遠鏡による太陽観測映像や収集した資料は、学習支援のための学校団体への貸出しや展示など、効果的な活用に努めました。

（３）啓発調査研究事業

防府の自然や、科学教育、科学技術などに関する調査研究を行うとともに、科学の楽しさを伝えるための教材開発にも取り組みました。

また、企画展に関する研修会などにも職員を派遣し、ネットワークの強化や専門職員としての人材育成に努めました。

（４）学校連携事業及び外部連携事業（資料１１頁～１５頁参照）

①　学校連携事業

小学校への出前事業などを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行いました。

また、博物館実習をはじめ、インターンシップや職場体験学習による人材育成支援も行いました。本年度は、博物館実習として山口大学の４年生２人、理科学外研修として山口短期大学１年生４人・２年生４人、インターンシップとして岡山理科大学の２年生１人、ＹＩＣキャリアデザイン専門学校１年生２人、ＹＩＣビジネスアート専門学校１年生２人、宇部フロンティア大学２年生１人を受け入れました。その他、小学校から高等学校まで７校、１８人の職場体験学習を行いました。

②　外部連携事業

博物館や大学、企業、地域の団体と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができる出前事業などを積極的に実施しました。

また、毎年恒例の発明科学教室や宇宙教室、コズミックカレッジを実施するとともに、山口県ひとづくり財団が実施した「やまぐちしょういん学校」への協力や、防府商工高等学校が実施したテクノアカデミーでのブース展示を行いました。

その他、山口県立山口博物館と山口情報芸術センターを会場として、全国科学館連携協議会の中四国ブロック会議を開催し、館運営や活動状況などについて２日間の研修を行いました。

（５）科学教育指導員派遣事業

防府市内の公民館や児童館などへの出前講座の依頼に対応するため、必要な知識や技術をもった当館の元専門職員（８名）が科学教育指導員となり、講座を実施しました。本年度は１０回実施し、３３６人の方に科学の不思議さや楽しさを伝えることができました。

（６）防府市少年少女発明クラブ

青少年の科学技術に対する夢と創造力を育み、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に、当館を活動の場として開設された発明クラブの活動も１５年目になりました。

ボランティアグループ「サイエンスＦＵＮクラブ」の皆様の多大なお力をいただき、充実した活動を行っています。

一般社団法人山口県発明協会主催の「２０１６やまぐち未来の科学の夢絵画展」では、８点が佳作に選ばれ、全国審査となる公益社団法人発明協会主催の「第３８回未来の科学の夢絵画展」では、１点が奨励賞に選ばれました。また、「２０１６やまぐち発明くふう展」では、１点が奨励賞に入賞しました。

（７）科学施設の管理運営

①　防府市青少年科学館

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された当施設は、その設置目的にかなうよう管理運営に努めました。

ア　施設整備・運営

平成２８年度はサイエンスパーク惑星アトリウムの清掃を行い、少しでも景観が良くなるように努めました。今後、更なるサイエンスパークの整備も必要で、安全管理のため、老朽化していた監視カメラ等の更新を行いました。

また、開館から１９年が経過し、各所で老朽化が進んでいるため、小規模な修繕等を継続して行いながら、各種設備の点検・修理も定期的に行い、ご来館者に館内外で安全に快適に過ごしていただけるよう、施設の維持管理を行いました。

夏の企画展開催中の夏休み期間は休館日を無くし、毎日開館することで多くのお客様にご来場いただきました。この取り組みは、平成２５年度から継続しています。

さらに、平成２７年度からの取り組みとして、県内の小中学校に向け年間行事のご案内をするとともに、社会見学の引率教職員を対象とした無料招待券を送付しました。その結果８６件２７１人に招待券を利用していただきました。年間の社会見学の件数は１０２件で、昨年度より１５件減少しました。

イ　利用状況（資料１６頁～１７頁参照）

平成２８年度は７１，０１８人の入館者がありました。

また、館外普及活動として、市内小学校での出前授業や児童館・公民館の家庭教育学級などへの派遣講座を行い、２，９１５人の参加をいただきました。入館者及び館外参加者人数は総合計で７３，９３３人になりました。

３　学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

学校教育や社会教育の学習効果を高めるために、視聴覚教材や機材を整備して、市内の学校など諸教育施設に広く活用していただくことを目標に活動をしました。

（１）視聴覚機材や教材の計画的な充足（資料１８頁参照）

平成２８年８月１８日に運営委員会を開催し、平成２７年度の事業報告及び決算について、平成２８年度の事業推進状況報告及び予算について、更に平成２９年度の事業計画について、ご審議いただきました。

機材は、液晶プロジェクター１台を購入しました。また、タブレット１０台を貸出用でリース契約しました。

教材は、「バイリンガル世界の童話シリーズ」ほか、幼児から小学生向けの教材を中心に３２本のＤＶＤを購入しました。

また、自主制作教材として、「のびゆく防府（第 19 集）映像資料」を制作しました。この教材は、小学３年生の社会科で学ぶ「みんなのまち防府」について、副読本「のびゆく防府（第 19 集）」に沿った内容で、防府のまちを映像で紹介しています。制作にあたっては、防府市小学校教育研究会社会科研修部と防府市教育委員会学校教育課の先生方に編集協力員としてご意見をいただき、学校の教育現場で活用しやすいよう編集しました。

（２）視聴覚機材や教材の貸出管理（資料１８頁～１９頁参照）

視聴覚機材を貸出は、１，７０３日、３７９件でした。各機材とも昨年度と比較すると貸出件数・日数共に増加傾向となりました。今後も利用者に不便をおかけしないよう機材の保守点検に努めるとともに、利用者のニーズを考慮した機材選定を行ってまいります。

視聴覚教材の貸出は、９５７日、１５１件で、昨年度より増加しました。また、５年ごとの教材目録の刷新を行いました。

（３）防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映（資料２０頁参照）

多目的ホールで、月替わりに、青少年科学館の科学事業の企画目的に沿う教材や、社会見学時期には社会見学に適した教材を上映しました。本年度は、冬のパネル展「宇宙科学ヒストリー」に合わせた映像の上映を平日も４回上映しました。

（４）市内小学校あて巡回ビデオの配送（資料２０頁参照）

防府市小学校教育研究会視聴覚研修部の先生方が、当ライブラリー保有の視聴覚教材の中から、巡回ビデオ用教材２８項目を選定されました。

平成２８年６月１日から平成２９年２月１７日にかけて、市内１７小学校で順次ビデオ映画会ができるように、その教材の配送をしました。

（５）講習会の開催（資料２１頁参照）

①　ビデオ撮影編集

本年度も、手持ちの機材での撮影から、フリーソフトでの編集などについて、初心者を対象とした講習会を行いました。昨年度まで３回シリーズで開催していましたが、本年度から２回シリーズとし、９月２４日・２５日の連続で開催し、延べ９人が参加しました。講師は、防府映像サークル等から派遣していただきました。

② タブレット講習会

初の試みとして「タブレット活用講習会」を開催しました。定員１２人に対して２６人の申込みがあり、多くの方のニーズがある今の時代にあった講習会でした。講師は、山口ケーブルビジョンから２人の講師を派遣していただき、初心者向けのわかりやすい講義をしていただきました。当日１人の欠席者があったため、１１人の参加となりました。

（６）ホームページの充実

ホームページ上での教材目録の検索ページの更新、保守を行いました。

４　教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業

（資料２２頁～２４頁参照）

防府市文化振興財団の平成２８年度事業計画書、及び平成２８年４月１日から施行された「防府市図書館サービス振興基本計画」等に基づき、常時図書館サービスの向上に取り組んでいます。

（１）図書館サービス事業

① 資料収集業務

「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づく図書館資料の適正な選書･収集を、各種出版情報・書評等を参考にしながら恒常的に行い、資料の質・量両面にわたる充実に努めています。利用者からのリクエストにも「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づき対応しています。

② 来館者へのサービス業務

ア　資料貸出・返却業務

窓口カウンターでは、司書有資格者を配置し、図書館資料の貸出・返却・検索、利用登録、簡単な読書相談、予約・リクエスト受付業務等を行っています。また返却資料等については常時迅速に処理・配架し、書架の整頓に努めています。

イ　情報提供サービス・資料相談業務

資料相談カウンターには、司書有資格者を配置し、利用者の調査研究活動への支援のほか､資料利用案内､読書相談等のレファレンスサービスを行っています。

また、新着図書案内やテーマ別ブックリスト、パスファインダー（テーマ別資料利用案内）等の充実に努めるとともに、利用者とのコミュニケーションを図るフロアワークの強化に努めています。

適当な資料・情報が即座に提供できない場合には、他の図書館、市内外の関係機関等に照会したり、利用者をそれらの機関へ案内・紹介するなど、利用者の求めに的確に対応できるよう、レフェラルサービスにより対応しています。更に、利用者への資料・情報提供サービスの強化を図るため、平成２９年度からの国立

国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス（閲覧）」加入登録に向けて、現在準備を進めています。

児童用カウンターには、司書有資格者を配置し、資料利用案内、読書案内等の業務を行って、子どもの読書活動を支援しています。

ウ　サービス改善活動「防府図書館利用者懇談会」

図書館サービスの更なる向上を図るため、様々な図書館利用者の意見や提案を直接聞く「防府図書館利用者懇談会」を、２月１０日（金）に開催しました。

③　資料管理業務

ア　資料の受入れ業務

資料管理業務全般について司書有資格者が複数人で担当し、資料の受入れに際しては、受贈資料も含めて体系的・継続的に組織化するためのデータ管理をしています。

イ　資料整理業務等

資料は書架分類を基本として、体系的・統一的な組織化をするためのデータ管理・装備をしています。『日本十進分類法新訂８版』『日本目録規則１９８７年版改訂３版』等に基づき、図書館コンピュータシステムによる詳細なＭＡＲＣ（機械可読目録）を作成し、インターネット検索のできるＯＰＡＣ（オンライン閲覧目録）を整備しています。

３月１日（水）から３日（金）まで、全開架資料について平成２８年度２回目の蔵書点検を実施しました。

ウ　未返却資料の返却督促業務

延滞資料については、電話・葉書等により定期的に返却を督促し、予約が付いた場合には随時督促を行っています。

④　移動図書館運行サービス

図書館から遠距離に居住する方、障害のある方、交通手段のない方等の幅広い利用を促進する市内全域サービスの充実を図るため、移動図書館車に常時約３５００冊の図書を積載し、各ステーションを２週間に１回の周期で巡回しています。

効果的・効率的な運用の強化を図るため、コース、ステーション等は、半年毎に見直しを行っています。平成２９年４月から新規に右田小学校をステーションに追加し、６コース３６ステーション（平成２８年度は３５ステーション）で運行することを決定しました。

⑤　図書館コンピュータシステム

平成２８年１２月２２日から５年間のリース契約で導入した更新システムにより、読書手帳、読書マラソン、Ｍｙ本棚、資料検索時の表紙画像表示等のサービスを行っています。貸出・返却・検索等に要する時間が大幅短縮され、Ｗｅｂ上での予約・

貸出期間延長等にも対応できるようにしています。また、「防府図書館オリジナル読書手帳」を作成し、３月２４日（金）から頒布を開始しました。

⑥　その他の図書館サービス業務

ア　団体貸出

市内の学校・幼稚園・保育所・認定こども園その他の施設・団体等の読書活動を支援するため、団体貸出（貸出文庫・読書会文庫）事業を行っています。

イ　地域の読書活動支援

市内１５ヶ所の公民館において、地域文庫事業を実施し、予約・リクエストにも対応しています。また、市内の公民館等で実施される読書活動や生涯学習活動に対し随時協力・支援を行っています。

ウ　障害者サービス

障害者へのサービスのため、ボランティアとの協働により点字・音声資料等を作成するとともに、郵送貸出等を行っています。また、障害のある子どもたちのための職場体験（プレジョブ）や図書館見学も受け入れています。

エ　複写サービス

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいて、複写サービス業務を適正に行っています。更に、利用者への資料・情報提供サービスの強化を図るため、平成２９年度からの国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス（複写）」加入登録に向けて、現在準備を進めています。

オ　防府史料の刊行

防府史料第６６集『西浦新開作の誕生と撫育方』を、平成２９年３月２５日付で刊行し、ホームページにも掲載しました。

⑦　広報活動

ア　図書館ホームページ

図書館ホームページの内容充実に努め、随時更新を行っています。

イ　広報紙等

毎月、広報紙「ほうふ図書館だより」、「ほうふとしょかんこどもしんぶん」、「新刊紹介」を刊行しています。当財団の機関紙「イベントアイ」（隔月刊）にも、図書館情報を掲載しています。また、図書館管理室を通じて、市広報「ほうふ」に図書館に関する記事を毎号掲載しています。

ウ　図書館年報

「図書館年報」平成２８年度版を、平成２９年５月末日までに刊行する予定で、現在準備を進めています。子ども版の年報である「数字で見る防府図書館（平成２８年度の統計より）」も平成２９年５月末日までに刊行する予定で、現在準備を進めています。

エ　パンフレット「防府図書館７５年の歩み」

平成２８年１０月に発行したパンフレット「防府図書館７５年の歩み」（全１２ページ）を、関係各方面に広く配布しました。

オ　その他の広報活動

図書館関連行事等のチラシを作成するとともに、地域コミュニティＦＭラジオ「ＦＭわっしょい」にも毎月複数回出演し、図書館活動の広報に努めています。

⑧　図書館施設の利用等の許可

研修室・準備室・おはなしの部屋・作業室等は、図書館主催行事や学習グループ・ボランティアグループ主催の生涯学習活動、市が主催する行事等のために利用されています。研修室については、利用予定の無い日は学習室として開放しています。

⑨　施設管理業務

ア　施設・設備・備品の維持管理と環境整備

図書館施設・設備・備品の日常的な点検を適正に実施し、館内の清掃は日々計画的に行っています。清掃に係る報告書を毎日提出することを、受託業者に義務付けています。

イ　保安・事故防止対策

利用者の安心・安全を確保するため、小部屋・書庫等の施錠管理を常時厳重に行う体制を整えるとともに、図書館職員・警備員・警察官等による館内巡視を随時行っています。不当要求・業務妨害等には、随時毅然たる態度で対応し、適正に処置をしています。保安警備業務日誌の提出を、受託業者に義務付けています。

ウ　危機管理・防災対策

危機管理・防災対策として、市の関係部署と随時連携・連絡体制を整えるとともに、図書館職員・警備員による定期的巡回を行っています。また、ルルサス防府全体の「消防計画」作成に伴う「図書館自衛消防隊リスト」を作成しています。

３月２２日（水）に、ルルサス防府管理組合合同の防火・避難訓練を実施しました。

（２）生涯学習推進事業

①　図書館行事

ア　「図書館ボランティア養成講座」

図書館ボランティアに必要な基礎的知識の習得と技術の向上を図るため、ボランティア養成講座を、３月９日（木）・１３日（月）・１６日（木）・２３日（木）の計４回開催しました。

イ　「防府図書館ボランティア連絡会議」

利用者サービスの更なる向上を図るため、現在活動中の図書館ボランティア間の連携を深め、現状と課題について意見や情報の交換を行う「防府図書館ボラン

ティア連絡会議」を、２月１７日（金）に開催しました。

ウ　「防府図書館ビブリオバトル」

読書推進活動の一環イベントとして、「防府図書館ビブリオバトル」を２月２６日（日）に開催しました。

エ　子どもの読書活動に係る事業

a　「第２次防府市子ども読書活動推進計画」及び学校図書館とのオンラインネットワークシステム構築

「第２次防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館管理室、小・中学校、公民館等との連携を図り、様々な子どもの読書活動を推進しています。この計画に基づく事業として、学校図書館とのオンラインネットワークシステムが、２月１日（水）から稼働しました。

b　子ども図書館員

子どもたちに図書館の業務と機能を理解してもらうため、夏休みの８月５日（金）と１２日（金）に、「子ども図書館員」を実施しました。

c　防府市図書館を使った調べる学習コンクール

子どもたちの調べ学習の能力を育てるため、「第４回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を教育委員会とともに実施しました。市内の小中学生から３６点の応募があり、１０月２８日に審査会を開催しました。内２点の上位優秀作品を全国コンクールに出展し、両作品とも佳作に入賞しました。

d　職場体験等の受入

学生のインターンシップ等の職場体験、障害のある児童生徒を対象としたプレジョブ、図書館見学等を、積極的に受け入れています。

オ　講演会

防府市制施行８０周年・防府図書館開館７５周年・ルルサス防府開設１０周年記念「第６回防府市子ども読書フェスティバル」の際に記念講演会を開催しました。講師は、一般財団法人大阪国際児童文学振興財団理事・総括専門員の土居安子さん、演題は「子どもと絵本をたのしむ」でした。

カ　展示・展覧会

展示室で常設展「上山満之進と三哲文庫」を開催しています。展示コーナー、中央カウンター前、児童カウンター横の３ヶ所で、毎月テーマを変えて月例資料展示を行っているほか、新刊コーナー横とヤング図書コーナー前で随時テーマを変えてミニ資料展示を行っています。ブラウジングコーナーの壁面で、市民の作品展覧会を実施しています。

②　ボランティア・学習サークル等との協働事業

ア　共催の文化行事

防府市制施行８０周年・防府図書館開館７５周年・ルルサス防府開設１０周年記念「第６回防府市子ども読書フェスティバル」（５月２９日）、「第２６回防府図書館まつり」（１０月１５日）を、実行委員会、防府市教育委員会と共催しました。

イ　図書館サークルの公開事業

防府図書館の資料と施設・設備を利用している各種サークルが実施する公開事業等について、図書館ホームページ、市広報、地域コミュニティＦＭ「ＦＭわっしょい」等で広報活動を行い、奨励・支援をしています。

ウ　学習講座

防府図書館の資料と施設・設備を利用している生涯学習グループの講座やサークル活動について、資料や施設・設備・機会の提供、広報活動等を行い、奨励・支援をしています。

③　本財団内部の連携事業

図書館にある様々な資源を活用し、図書館事業と文化・科学事業との連携推進を図るため、８月から、財団内連携推進会議を毎月開催し、情報交換と連携を密にしています。

ア　文化事業との連携

市公会堂・アスピラートなどのイベント企画に合わせた、関連図書の展示を行っています。平成２９年度のアスピラートの展示企画、防府市出身の絵本作家田頭よしたか氏の原画展に合わせて、関連イベントを予定しています。

イ　科学事業との連携

ソラールで開催される企画展やイベントに合わせて、関連図書の展示を行っています。「第４回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」において、従来からの図書館長に加え、新規にソラール館長が審査員に加わりました。

ウ　その他

アスピラート・ソラールの専門職による、図書館での出前講演・講座・研修等を実施するようになりました。

５　収益事業

チケットの受託販売や、有料駐車場の運営、科学館のショップ運営等により、公益目的事業の財源となる収入の確保を図りました。これらの運営に当たっては、施設利用者への更なるサービス向上につながるよう努めました。

（１）文化施設の管理運営

企業の展示販売会や会議等、公益目的以外の利用についても施設を貸与し、施設の

有効利用とともに、地域振興の拠点となるよう努めました。施設の都合を押し付けることなく、より良い利用方法を提案する等、利用者の立場に立ったサービスが提供できるよう取り組みました。

また、他施設で開催されるイベントのチケットを含めたチケットの受託販売も積極的に行い、お客様の利便性を高めるとともに、収入の確保にも努めました。

（２）有料駐車場の管理運営（資料２５頁参照）

当年度の利用料金収入は、２，６２４，９５０円となり、予算比８４．７％と目標を下回り、前年度の８２．８％と利用が減少しております。

機器の管理については、専門業者による定期的な点検のほか、日常の目視点検等により、不具合を早期発見するよう努めました。

また、出庫車が精算待ちで並んだ場合は、職員を精算機に配置し、出庫がスムーズに行えるよう配慮する等、安全で利用しやすい運営に努めました。

（３）ミュージアムショップの運営

ミュージアムショップでは、科学館にしかないような科学グッズや実験セットなどの販売を行っています。また、防府市のお土産として販売している「幸せます」グッズも、引き続き好評です。

また、各企画展開催中には、それぞれの企画展の内容に合った、科学により興味を持っていただけるような商品や書籍を期間限定で販売しました。

Ⅲ　理事会、評議員会

１　理事会

（１）第１回理事会

開催年月日　　平成２８年５月１２日（木）
開催場所　　防府市公会堂　第５号室
決議事項　　①平成２７年度事業報告及び決算について
②平成２８年度第１回評議員会（定時評議員会）の招集について

（２）第２回理事会

決議があったとみなされた日　　平成２８年１２月１日（木）
開催方法　　決議の省略の方法（定款第３７条第１項に基づくみなし決議）
決議事項　　①公益財団法人防府市文化振興財団職員給与規程の一部改正について

（３）第３回理事会

開催年月日　　平成２８年１２月２１日（水）
開催場所　　防府市公会堂　第５号室

決議事項　①山頭火ふるさと館の指定管理者指定申請について
②従たる事務所の設置について
③規程等の改正について

（４）第４回理事会

開催年月日　平成２９年２月８日（水）
開催場所　防府市公会堂　第５号室
決議事項　①平成２９年度事業計画書及び収支予算書等について
②規程等の改正について
③防府市青少年科学館長の選任について
④平成２８年度第２回評議員会の招集について

２　評議員会

（１）第１回評議員会（定時評議員会）

開催年月日　平成２８年５月２７日（金）
開催場所　防府市公会堂　第５号室
決議事項　①平成２７年度事業報告及び決算について
②監事の選任について

（２）第２回評議員会

開催年月日　平成２９年２月２３日（木）
開催場所　防府市公会堂　第５号室
決議事項　平成２９年度事業計画書及び収支予算書等について

事業報告の附属明細書

平成２８年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成２９年５月

公益財団法人 防府市文化振興財団